

先端医療研究センター研究業績 (平成 11 年-12 年) 記入例

研究テーマ					
講座名		研究担当者	印		
講座主任	印	共同研究者		所属	
成果の発表状況	欧文論文	1. Kubo Y, Suzuki M, Kudo A, Yoshida K, Suzuki T, Ogasawara K, Ogawa A, Kuorose A and Sawai T. : Thrombin inhibitor ameliorates secondary damage in rat brain injury. J. Neurol. 17: 163-172 (2000)			
	邦文論文	1. 小野直之, 鈴木満, 小原ケイ子, 北畠顕浩 : 大脳白質血管周囲のグリア構造- 灰白質血管周囲のそれとの比較- 老年精神医学 11 (in press 2000)			
	総説等	1. 佐藤洋一 : 共焦点顕微鏡を用いた生組織のイメージング-特に細胞内カルシウムイオン動態の可視化について-電子顕微鏡 34 :217-219 (1999)			
	シンポジウム	1. 西川泰正、土肥 守、渡辺美喜雄、鈴木倫保、小川 彰、木村眞吾、佐々木和彦 : スフィンゴリン脂質 Sphingosylphosphorylcholin による脳血管の持続的収縮の発生機序 . 第 15 回スパズムシンポ . 1998 年 7 月, 京都			
	学会発表	1. 1 Takashima, K., Kawasaki, S., Kimura, S., Fujita, R. and Sasaki, K.: Effects of progesterone on the current responses of various receptors in the ganglion cells of Aplysia . 第 22 回日本神経科学大会. 7 月. 大阪.			
	その他 (著書など)	1. 鈴木満, 井原裕 : 高次脳機能局在論の展開と機能修復的治療研究の歴史 . 臨床精神医学講座 special issue 第 1 巻 P 297- 309 , 中山書店 , 東京 (1999)			
セミナー等の開催状況	1. タイトル 主催 場所 開催日時 講演者 等				

論文別刷り等ありましたら添付のこと。
用紙が不足場合、様式をコピーして記入してください。